

| | | |
|--|--|---|
| <p>第 21 号 発行：平成 25 年 4 月 松浦武四郎記念館友の会 会員数：116 名(平成 25 年 4 月 14 日現在) (家族会員=7 名、個人会員=109 名)</p> | <p>松浦武四郎記念館友の会</p>  <p>友の会だより</p> | <p>友の会事務局：松阪市小野江町 383 松浦武四郎記念館内 連絡先：電話 0598-56-6847 Fax 0598-56-7328 発行責任者：飯田 秀</p> |
|--|--|---|

新年度のご挨拶

会 長 飯 田 秀



新年度を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

「松浦武四郎記念館友の会」設立後、早や 5 年が経ちホームページや友の会誌による情報発信。市民活動センター加入団体との交流会へ出向き、友の会についての PR・会員募集の呼び掛けに努めてまいりました。

昨年は、会長として地元小学校へ出向き子ども達への出前講座。恒例の武四郎の神鏡を訪ねる研修旅行では曾根天満宮（兵庫県高砂市）へ、特別講演では「斎宮歴史博物館友の会」大川会長、友の会会員が 2 回と計 3 回の特別講演をお願いしました。

又、佐佐木信綱顕彰会との交流会、恒例の市政バスツアーなど、親睦と交流が深まった活動内容でありました。我々が苦労して育てた蝦夷山桜の苗木 6 本に花が咲き、1 本が満開となり地元まちづくりに繋がったことが、良かったと思います。

我々、友の会活動が認められ、市教育委員会から原田積善会の助成金事業に値すると推薦され、「第 18 回武四郎まつり」前日に待望の蝦夷山桜の案内看板を設置することができました。又、桜苗木周辺についての環境美化に努めたことにより、市から善行者表彰を受賞したのも「友の会」を代表して頂いたものと思っております。

会長として、設立以来一番充実した年であったことに感謝する次第です。

今後も友の会役員との連携を保ちながら、役割と責任を感じて役員と一緒に考えて事業に取り組むスタンスを続けていきたいと思っております。会員さんの協力が有っての「友の会」であることを忘れず、感謝される気持ちを持って人間関係の活性化を重視して、発信力と対話力の強化に努めていきたいと思う次第です。

今後も会員交流懇談会での意見を役員会でよく検討して取組み皆さんに親しんで貰える友の会にしていきたく思いますので協力の程、宜しくお願い申し上げます。

今後の主な行事の予定

総会の予定

5 月 12 日(日)の講座会の後（11 時頃から）総会を開催します。
多くの皆さまのご出席と、具体的な提案をお願いします。

バス研修旅行の予定

平成 25 年度の研修旅行は 4 月 26 日(金)に開催します。
武四郎が神鏡を奉納した奈良県桜井市の与喜天満宮及び近隣にある長谷寺を巡ります。
参加ご希望の方は、友の会役員又は記念館事務局に連絡ください。

武四郎まつりが賑やかに開催されました！！

平成 25 年 2 月 24 日(日)に毎年恒例の武四郎まつりが開催され、松阪市内外から約 3600 名の方が来られました。

今年は、来賓として田村憲久厚生労働大臣や音威子府村の佐近勝村長もお越しいただきました。

友の会としても、記念館屋内での受付・案内、書籍の販売、アイヌ文化体験教室作品展示、友の会啓発コーナーなど、記念館屋外では、音威子府村 PR コーナー、アイヌ文化体験コーナー、誕生地での案内・説明、真覚寺では由緒説明などを行いました。

また、友の会会員の北海道釧路市阿寒町の神戸さんもお手伝いに加わっていただきました。

お手伝いいただいた方に厚く御礼申し上げます。

僕も参加しました！
みんな参加してくれて、
有難う！



主催者挨拶の山中市長



実行委員長挨拶の飯田会長



記念館入口で書籍の販売



お休み処で、お茶とあられの振舞い



友の会の活動報告(記念館入口)



誕生地前で、アイヌ民族衣装を着て

飯田会長が表彰されました！(1 頁の善行者表彰の内容です。)

飯田会長が松阪市小さな親切運動推進本部(本部長は山中光茂松阪市長)から表彰されました。

理由は、エゾヤマザクラの手入れ(周辺の草刈りや添え木補修など)をこまめにされ、周辺の環境美化に尽力されていることが、地域の皆さんの目にとまり推薦されたとのことです。



友の会懇談会が開催されました！！

今年も3月10日に「会員懇談会」が開催され、19名の方が参加され活発な意見交換により、多くの提案がなされました。

主な、意見は次の通りです。役員で検討し友の会の事業計画に反映していきたいと思えます。

☆ 武四郎に関する研修旅行

⇒日帰りできるところが好ましい(宿泊は駄目)

⇒武四郎さんと天満宮との関係が今一つ判らない

⇒事前学習会や輪読会を行うなど、自ら学ぶ姿勢を友の会が持つことが必要

⇒神鏡のテーマが尽きたら、北畠、東山道、近江、宇治など武四郎の足跡を訪ねる旅でも良い(事前学習)

⇒鏡中心の訪問より、歩いた道(地)を訪ねる等の違った工夫も欲しい

⇒室生寺を入れた本街道ウォーキング(200年への会)も良い

☆ 武四郎講座

⇒友の会会員の発表講座について、方向性としては好ましい方向

⇒武四郎が旅された道を巡ってみて発表する案もある

⇒友の会主催の講座は、武四郎以外の事でも良いのでは

⇒地元の草分先生、大川さんの経営学、原田二郎関係も考えては

⇒個人やグループでテーマについての研究報告を計画してはどうか

⇒武四郎著は難解なので、佐藤先生の解説書を読んで研究が出来る

☆ 友の会の活動

⇒ボランティアガイドの育成も必要では……。受け皿は読む会・保存会・友の会

⇒現在は受け身的なので、武四郎を研究するというような、能動的な活動も必要

⇒行事を土日にも開催し、子供たちが参加できることも考えてほしい

⇒会費500円で本当に運営できるのか？アップもOK

⇒記念館裏(北側)の広場を活用しての行事をしては

⇒植樹したエソヤマザクラのお花見会をしては……



エソヤマザクラの成長について

平成20年から22年にかけて北海道新聞社から贈られ記念館北側広場の周辺に植えられたエソヤマザクラは一昨年頃から花が咲き始め、昨年は4月20日頃が見頃でした。会員の皆さまにも、是非見ていただければ幸いです。

エソヤマザクラ植樹の経緯

北海道新聞社は道内各地にエソヤマザクラを贈る運動(千本桜運動)を行っており、北海道内のみでしたが、武四郎の関係で、同社経営企画室の武野伸二さんのご尽力で平成20年から3年間、毎年10本の苗木を贈って頂き、友の会会員有志により植樹・手入れを行ってきました。

※武野伸二さんは、同僚は『たけやん』と呼ぶそうです。現在は道新ぶんぶんクラブ(会員組織)の事務局長です。

エソヤマザクラ説明看板の設置

公益財団法人原田積善会からの助成金により、2月21日に看板を2カ所設置しました！！

同会は松阪市出身の原田二郎が大正9年(1920年)7月に全資産(1020万円)を拠出して設立された社会公益事業に対する助成を行うことを目的とした団体です。



友の会主催の武四郎講座開催(25年2月10日)

2月10日(日)に米本一美(友の会会員・武四郎を読む会前会長)さんを講師に迎えて、「松浦武四郎翁の収集品推論」〈国宝「穀璧」の謎を追って〉を演題に開催しました。日向の国「王の山」古墳で出土したわが国で唯一の完璧な穀璧(国宝)についての講義で、武四郎が生まれた文化15年(1818年)2月に発見され、明治になって武四郎が入手し明治10年に元侯爵の前田家(加賀藩主の子孫)へ譲渡している。

「穀璧」とは中国の周(紀元前1046年頃～紀元前256年)の時代に、諸侯を公、侯、伯、子、男の5等に分け、王畿(都周辺)以外領地に封建し、地位の象徴として玉器を与えた。穀璧は子爵に与えられたもの。



穀璧の写真

【松浦武四郎記念館よりのお知らせ】

武四郎講座のご案内 ※下記は予定ですので、変更になる場合があります

5月12日(日)10時～ テーマ：武四郎の晩年 講師：山本 命学芸員

当日は、講座終了後に友の会の総会が開催されます。

6月9日(日)10時～ テーマ：武四郎の古物収集 講師：山本 命学芸員

7月14日(日)10時～ テーマ：武四郎と大台ヶ原 講師：佐藤 貞夫 先生

展示のご案内

◆テーマ：武四郎の晩年 5月19日(日)まで

松浦武四郎は晩年に、大台ヶ原の登山や一畳敷の書齋を作るなど、精力的に活動しました。老いてなお衰えることの無かった武四郎の姿を、多彩な展示資料から紹介します。

◆テーマ：武四郎と古物収集 5月21日(火)～7月21日(日)まで

明治維新後の松浦武四郎は古物の収集も盛んに行っており、『撥雲余興』と題した図録を出版しました。武四郎の集めたコレクションから、当時の好古家たちに影響を与えた武四郎の姿を紹介します。

◆テーマ：武四郎とアイヌ民族 7月23日(火)～9月29日(日)まで

松浦武四郎は幕末に6度にわたって蝦夷地の調査を行いました。

調査を通じて出会ったアイヌ民族との交流の様子を、調査記録や地図などから紹介します。

【友の会よりのお知らせ】

蝦夷屏風の修復について

記念館では所蔵している大型の屏風「蝦夷屏風」の保存修理を平成25年度から行う予定です。

これに合わせて、平成26年1月と2月に蝦夷屏風についての講座を友の会が主催して行うことを検討しています。

また、10月以降に発行する「友の会だより」でも蝦夷屏風に関する情報を掲載する予定です。

どうぞご期待ください。



蝦夷屏風

友の会会員の居住区域別一覧(平成25年4月14日時点：会員数116名)

☆松阪市内83名(旧市内39名、三雲31名、嬉野10名、飯高2名、飯南1名)

☆津市(久居含む)17名 ☆明和町7名 ☆伊勢市2名 ☆大台町1名 ☆いなべ市1名

県外 ☆愛知県2名 ☆北海道釧路市1名 ☆大阪府1名 ☆京都市1名